

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

第2期南アルプス市まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

山梨県南アルプス市

### 3 地域再生計画の区域

山梨県南アルプス市の全域

### 4 地域再生計画の目標

本市の人口は、平成27年の国勢調査時の70,828人と比べ、令和2年には69,459人と5年間で1,639人減少している。しかし、住民基本台帳によると令和2年10月時点では71,384人、令和7年1月現在においては71,720人と336人増加している。一方、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、令和32年には56,258人となる見込みである。

国勢調査の年齢3区分別で人口推移をみると、年少人口（0～14歳）は昭和55年以降減少傾向となっており、平成27年には10,171人、令和2年には9,188人となる一方、老年人口（65歳以上）は昭和55年以降一貫して増加しており、平成27年には17,702人、令和2年には19,302人と、今後も少子高齢化が進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）は平成17年までは増加が続いていたが、平成22年には減少に転じ、平成27年には42,716人、令和2年では40,547人となっている。なお、平成12年以降は老年人口が年少人口を上回り、高齢化の進展が顕著となっている。

住民基本台帳による自然動態をみると、出生数が緩やかに減少（令和元年度から令和5年度は480人前後で推移）しているのに対し、死亡数が増加（令和元年度から令和5年度は790人前後で推移）しており、平成18年度以降死亡数が出生数を上回る自然減の状態が続き、令和5年度には351人の自然減（出生数458人、死亡数809人）となっている。本市の高齢化の進展を踏まえると、今後も減少の幅は更

に強まると想定される。

また、社会動態をみると、転入数が増加傾向（令和元年度から令和5年度は2,240人前後で推移）であるのに対して、転出数は減少傾向（令和元年度から令和5年度は1,950人前後で推移）となっていた。社会動態は、年度ごとの増減は大きいものの、令和元年度に27人の社会増（転入者数2,154人、転出数2,127人）に転じてから、令和5年度では421人（転入者数2,229人、転入数1,808人）と大幅な社会増となっている。これは、市内に高規格道路の整備が進み、近隣からの交通アクセスが向上するとともに、子育て支援策を充実させることで、若い世帯の移住が進んでいることが大きな要因である。

少子高齢化の進展は、地域における担い手不足、それに伴う地域産業の衰退、更には地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される一方で、令和3年度の中部横断自動車道（山梨・静岡区間）の南部区間が開通に続き、今後は北部区間（山梨・長野区間）の開通が見込まれており、市内への更なる企業参入が期待できる状況にある。また、令和6年度には南アルプスIC周辺に地域交流エリアの整備がされ、令和7年度にはコストコの開業、更には今後、リニア中央新幹線の開通も見込まれている。

これらの本市の情勢を地域の活力へつなげていくため、南アルプスIC周辺50haの高度利活用を含む都市交流拠点機能の充実・強化を図り、企業誘致・観光振興を通じて、地域経済の活性化や関係人口、定住人口の増加を図るとともに、子育て支援・教育の更なる充実により、安心して子どもを産み育てる環境を整備するなど、各種取り組みに注力することで少子高齢化の進展に歯止めをかけていく。なお、これらの取り組みにあたっては、本市の地域ビジョン（目指すべき姿）として「新たな交流がつながりを生み 次世代を育む 住みやすいまち」を掲げ、本計画期間においては以下の基本目標の達成を図る。

基本目標Ⅰ やりたい仕事ができるまちづくり

基本目標Ⅱ 行ってみたくなるまちづくり

基本目標Ⅲ 子育てしやすいまちづくり

基本目標Ⅳ 生涯活躍できるまちづくり

基本目標Ⅴ 魅力ある住みたいまちづくり

横断的取組 新しい時代の流れを力にするまちづくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和11年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	「南アルプス市では、農業活動が積極的に行われている」と思う市民の評価	3.7pt	3.8pt	基本目標Ⅰ
	「南アルプス市は、日常の買い物にまったく不便がない」と思う市民の評価	3.4pt	3.6pt	
	「暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある」と思う市民の評価	2.7pt	2.9pt	
	「南アルプス市では、やりたい仕事を見つけやすい」と思う市民の評価	2.6pt	2.8pt	
イ	「南アルプス市には、観光資源が豊富で誇らしい」と思う市民の評価	3pt	3.2pt	基本目標Ⅱ
	「私は、南アルプス市に対して愛着を持っている」と思う市民の評価	3.8pt	4pt	
ウ	「南アルプス市では、安心して子どもを預けられる環境がある」と思う市民の評価	3.5pt	3.7pt	基本目標Ⅲ
	「南アルプス市では、子育て支援・補助が手厚い」と思う市民の評価	3.6pt	3.7pt	
	「南アルプス市には、子育てに困ったときに相談する行政の窓口がある」と思う市民の評価	3.5pt	3.7pt	
	「南アルプス市には、安心して妊娠・出産・育児ができる環境がある」と思う市民の評価	3.3pt	3.4pt	
	「南アルプス市には、青少年が健やかに成長できる環境がある」と思う市民の評価	3.1pt	3.3pt	
	「私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある」と思う市民の評価	2.7pt	2.9pt	

	「南アルプス市では、学びたいことを学べる機会がある」と思う市民の評価	3pt	3.2pt	
	「南アルプス市は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい」と思う市民の評価	3pt	3.2pt	
	「南アルプス市では、教育環境が整っている」と思う市民の評価	3.5pt	3.7pt	
エ	「南アルプス市には、困ったときに相談できる人が身近にいる」と思う市民の評価	3.3pt	3.4pt	基本目標Ⅳ
	「南アルプス市には、生活に困ったときに相談する行政の窓口がある」と思う市民の評価	3.5pt	3.7pt	
	「南アルプス市では、高齢者の介護・福祉施設のサービスが受けやすい」と思う市民の評価	3.4pt	3.5pt	
	「南アルプス市では、障がい者の支援サービスが受けやすい」と思う市民の評価	3.3pt	3.4pt	
	「南アルプス市では、健康づくりがしやすい環境が整っている」と思う市民の評価	3.4pt	3.6pt	
	「南アルプス市は、医療機関が充実している」と思う市民の評価	3.3pt	3.5pt	
	「私は、同じ区や組に住む人たちを信頼している」と思う市民の評価	3.6pt	3.7pt	
	「南アルプス市では、まちづくりの取り組みへの参加が進んでいる」と思う市民の評価	3.2pt	3.3pt	
	「南アルプス市には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」と思う市民の評価	2.9pt	3.1pt	
	「南アルプス市には、女性が活躍しやすい雰囲気がある」と思う市民の評価	2.9pt	3.2pt	
オ	「南アルプス市では、歩道や信号が整備されていて安心である」と思う市民の評価	3.3pt	3.4pt	基本目標Ⅴ
	「私の暮らしている地域では、公共交通機関で	2.2pt	2.6pt	

	、好きな時に好きなところへ移動ができる」と思う市民の評価			
	「南アルプス市は、道路網が十分に整備されている」と思う市民の評価	3.3pt	3.5pt	
	「南アルプス市には、まちなか、公園、川沿い等で心地よく歩ける場所がある」と思う市民の評価	3.6pt	3.8pt	
	「南アルプス市の水道の水がおいしいと感じる」と思う市民の評価	3.7pt	3.9pt	
	「南アルプス市では、防災対策がしっかりしている」と思う市民の評価	3.5pt	3.6pt	
	「南アルプス市では、消防・救急体制が整っている」と思う市民の評価	3.5pt	3.6pt	
	「南アルプス市は、防犯対策（交番・街灯・住民の見守り等）が整い、治安がよい」と思う市民の評価	3.4pt	3.5pt	
	「南アルプス市では、身近に自然を感じることができる」と思う市民の評価	4.3pt	4.3pt	
	「南アルプス市では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」と思う市民の評価	3.7pt	3.8pt	
カ	「南アルプス市では、行政サービスのデジタル化が進んでいる」と思う市民の評価	3.1pt	3.2pt	横断的取組
	「南アルプス市では、予算が適切に使われている」と思う市民の評価	3.1pt	3.2pt	
	「暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う」と思う市民の評価	3.2pt	3.4pt	
	「南アルプス市の職員は信頼できる」と思う市民の評価	3.4pt	3.5pt	

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

第2期南アルプス市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業

- ア やりたい仕事ができるまちづくり事業
- イ 行ってみたくなるまちづくり事業
- ウ 子育てしやすいまちづくり事業
- エ 生涯活躍できるまちづくり事業
- オ 魅力ある住みたいまちづくり事業
- カ 新しい時代の流れを力にするまちづくり事業

#### ② 事業の内容

ア やりたい仕事ができるまちづくり事業

「地域産業の振興」や「企業誘致の推進」を通して、誰もが自由に仕事を選び、安心して働けるまちづくりを推進する事業

##### 【主な取組内容】

- ・商工業の振興
- ・農林業の振興
- ・企業誘致の推進 等

イ 行ってみたくなるまちづくり事業

「観光振興」や「シティプロモーションの推進」、「移住・定住人口の拡大」を通して、住みたい・住み続けたいと思ってもらえる魅力的なまちづくりを推進する事業

##### 【主な取組内容】

- ・観光の振興
- ・シティプロモーションの推進
- ・交流と定住促進 等

#### ウ 子育てしやすいまちづくり事業

「子育て支援の充実」や「教育の充実」を通して、社会全体ですべての子どもを育み、子育てがしやすいまちづくりを推進する事業

##### 【主な取組内容】

- ・子育て支援の充実
- ・保育環境の充実
- ・子ども家庭相談体制の充実
- ・母子保健の充実
- ・青少年の健全育成の推進
- ・生涯学習の推進
- ・ふるさと資源の保全と活用
- ・学校教育の充実 等

#### エ 生涯活躍できるまちづくり事業

「福祉の充実」や「健康づくりの推進」、「みんなでまちづくりの推進」を通して、高齢者が地域社会で生活・活躍しやすいまちづくり、住民が主体的に参画できるまちづくりを推進する事業

##### 【主な取組内容】

- ・地域福祉の充実
- ・福祉総合相談体制の推進
- ・高齢者福祉の充実
- ・障がい者福祉の充実
- ・健康づくりの推進
- ・医療福祉の充実
- ・多様性社会の構築
- ・地域コミュニティの充実
- ・みんなでまちづくりの推進 等

#### オ 魅力ある住みたいまちづくり事業

「住環境の整備」や「持続可能なまちづくりの推進」を通して、市民全員が安心して暮らせる地域社会を形成し、誰もが暮らしやすく誇りを持てるまちづくりを推進する事業

**【主な取組内容】**

- ・都市空間の構築
- ・道路・交通基盤の整備
- ・上下水道の整備
- ・防災体制の整備
- ・消防力の充実
- ・防犯対策・交通安全の推進
- ・自然との共生
- ・生活環境の保全 等

**カ 新しい時代の流れを力にするまちづくり事業**

「デジタル技術の活用」や「時代に即した自治体運営」を通して、アからオまでの取り組みを横断的にアプローチすることで新しい時代の流れを力にするまちづくりを推進する事業

**【主な取組内容】**

- ・スマート農業による農業基盤の充実と整備
- ・電子母子手帳アプリによる子育て支援の充実と育児情報の一元化
- ・デジタル教材を活用した個別学習環境の充実
- ・デジタル技術活用の担い手育成のための講習会やワークショップ等の実施
- ・スマートフォンのアプリを活用した健康づくり（ウォーキングなど）
- ・AI デマンド、MaaS、自動運転等の導入による次世代型移動サービスの充実
- ・行政窓口のDX化による住民サービスの向上と業務効率化の実現 等

※なお、詳細は「デジタル田園都市国家構想の実現に向けた第3期南アルプス市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のとおり。

**③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））**

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,985,400千円（令和7年度～令和11年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

市民、産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディアなどから構成される有識者会議（南アルプス市まち・ひと・しごと創生審議会）で毎年度7月頃に検証し、その結果、必要に応じて翌年度の取組に活かすための見直しを行う。検証結果は、本市公式ホームページ等において公表する。

⑥ 事業実施期間

令和7年4月1日から令和12年3月31日まで

6 計画期間

令和7年4月1日から令和12年3月31日まで